

まほろば秦野通信

令和2年1月17日

タイトル	冬の風物詩 くずはの広場でヤマアカガエルが卵を産みました
When (いつ)	2月下旬ごろまで
Where (どこで)	くずはの広場内（曾屋1137）でんじそう池
What (なにを)	自然豊かな葛葉川ふるさと峡谷を保全するためにつくられた「くずはの広場」。広場内にある施設「くずはの家」では、職員が年間を通じた植物や生き物の調査を生かし、自然観察会や講演会などを行っています。そのようなイベント等を通じて市民が秦野の自然に触れられる機会を設けています。
How (どのように)	「くずはの家」の前にある「でんじそう池」で、1月4日の夜、今シーズン初めてヤマアカガエルが卵を産みました。平成15年からこの池のヤマアカガエルの初産卵日を記録していますが、今シーズンが最も早い記録となりました。ヤマアカガエルの産卵は暖かく雨の降る日に行われることが多いようで、年明けの天候がまさに産卵日和となったようです。卵はいくらのような形をしていて1000個ほどの卵がひとかたまりになっています。でんじそう池ではこれから3月初めころまでに毎年60～70個の卵塊が産み落とされます。3月にはかわいいおたまじゃくしが、池いっぱい泳いでいることでしょう。ぜひ見にいらしてください。
ホームページ URL	http://www.city.hadano.kanagawa.jp/www/contents/1001000000531/index.html
問い合わせ	環境保全課環境総務担当 担当：古恵良（こえら） 電話0463（82）9618 くずはの家 電話0463（84）7874

